

学校だより



スクラム

校訓 洗心・奉仕・鍛錬
【学校教育目標】自ら学び続け、自ら成長する氷川っ子の育成

令和8年度
氷川中学校
令和8年7月17日
第4号 文責 田中宗徳

38日間の夏休みが始まります

正門横のヒマワリが、今年も大きく花を咲かせています。太陽の方向だけでなく、あちこちを向いて咲く姿は、まるで登下校する生徒たちを見守ってくれているようです。1学期後半、子供たちの成長をそっと励ましてくれる存在となっていました。



今年の熊本の梅雨明けは7月8日頃と発表されました。梅雨の時期は比較的気温が低く過ごしやすい日もありましたが、梅雨明け後は一転して厳しい猛暑となりました。気温差が大きく、体調管理の難しい日々が続きましたが、生徒たちは学習に励み、体育の水泳授業にも意欲的に取り組んでいました。暑さに負けず頑張る姿が多く見られ、1学期の締めくくりにふさわしい成長を感じています。

さて、今年の夏休みは38日間です。子供たちが心身を休めるとともに、普段できないことに挑戦できる貴重な期間です。計画的に学習を進めることはもちろん、読書や地域行事への参加、家の手伝いなど、生活の幅を広げる経験を積んでほしいと思います。歯科治療(長期休みの間に必ず行っておきましょう)など、時間を確保しにくい健康管理にもぜひ取り組んでください。部活動や駅伝の練習がある人は、自分の体調を確認しながら行ってください。何かあるときは担当の指導者にしっかり伝えましょう。

一方で、夏休みは事故の危険も高まる時期です。特に水難事故には十分な注意が必要です。子供だけの海水浴や遊泳は禁止されています。必ず保護者の監督のもとで、安全に配慮して行ってください。また、猛暑が続くため熱中症対策も欠かせません。こまめな水分補給、帽子の着用、涼しい時間帯の外出など、日頃からの予防をお願いします。暑さに気を付けながらも、体を動かす機会を見つけ、健康的に過ごしてほしいと思います。

ヒマワリが太陽に向かって力強く伸びるように、生徒たちがこの夏を通して更に成長してくれることを願っています。安全で有意義な夏休みとなるよう、学校・家庭・地域が連携して見守っていききたいと思います。

わくわく体験氷川中 小学6年生氷川中学校体験入学

6月30日、宮原小学校35名、龍峯小学校10名の6年生を迎え、「わくわく体験氷川中」を実施しました。来年度入学を控える児童が中学校の授業や雰囲気を知り、また両小学校の児童同士が交流を深めることをねらいとした行事です。

今年度は、**教諭による英語**、**教諭による美術**の2つの授業を準備し、児童は2つのグループに分かれてどちらか一方を体験しました。中学校では通常50分授業ですが、この日は35分の体験授業とし、集中して取り組めるよう工夫しました。英語ではゲームを交えた活動、美術では創作を楽しむ姿が見られ、「楽しかった」という声が多く聞かれました。

終了後には、名残惜しそうに手を振りながら別れていく姿が見られ、短い時間ながら交流が深まったことを感じました。ところで、次年度、龍峯小学校からの入学がなければ、氷川中学校に龍峯小学校の生徒は0名となります。氷川中学校としては、龍峯小学校から一人でも二人でも入学してくれることを願っています。今回の体験が、中学校への安心と期待につながれば幸いです。



美術



英語

帰り際の様子





八代中体連バドミントン個人戦

6月28日、八代中体連の最後の種目となる「バドミントン個人戦」が行われました。本校にはバドミントン部がありませんが、日頃より指導者の■■■さんのご指導のもと、競技を始めて間もない生徒たちが練習に励んできました。当日は、



本校職員の■■■先生が引率し、氷川中学校の選手として13名が出場しました。

試合結果については、安心メールでもお伝えしたように5名の選手が二回戦まで進出し、短期間の練習ながら健闘する姿が見られました。試合に臨む表情は真剣そのもので、ラケットを握る手にも力がこもり、最後まで粘り強くプレーする姿が印象的でした。結果以上に、挑戦する気持ちや成長の兆しが随所に感じられ、今後の伸びが楽しみです。

今回の経験を通して、競技への意欲が更に高まった生徒も多かったと思います。これからの活動にも期待が膨らみます。応援いただいた保護者の皆さま、地域の皆さまに心より感謝申し上げます。



鏡消防署



八火図書館

2年生職場体験

7月8・9日の2日間、2年生は地域の産業を知り、働くことの意義や人との関わりの大切さを学ぶことを目的に町内15の事業所で職場体験を行いました。鏡消防署では消防士の

仕事を体験し、八火図書館では利用者対応や書架整理、下山自動車では整備補助など、様々な現場で真剣に取り組む姿が見られました。

生徒からは「働く人の気持ちが分かった」「将来の夢として頑張りたい」といった声に加え、素直に「楽しかった」という感想も多く聞かれ、実りある体験となったようです。今回の経験が、これからの進路や生き方を考えるうえで役立ち、夢や希望を育むきっかけになればと願っています。最後に、快く受け入れてくださった事業所の皆さまに心より感謝申し上げます。



下山自動車

地区懇談会を実施しました

7月3日、授業参観を兼ねた地区懇談会を行いました。まず体育館で全体会を実施し、生徒会長橋本さんによる開会、■■■区長代表・■■■学校運営協議会会長・校長の挨拶を行った後、各地区ごとに教室へ分かれて懇談を進めました。今回の懇談会は、生徒が



体育館での全体会



各教室での話し合いの様子

司会を務め、主体的に地域について学び、保護者や地域の方々とつながることを目的としています。

各地区では、自己紹介から始まり、地区の良さや改善点の情報交換、危険箇所や避難場所の確認、地域から子どもへの要望等について話し合いました。付箋を使った意見整理や地図を見ながらの確認など、生徒が工夫しながら進行する姿が見られました。

最後には、地区を代表して3年生■■■さんが放送で発表を行い、地域への理解を深める貴重な時間となりました。写真は、体育館での全体会の様子と、各地区に分かれて懇談を行う様子です。

八代教育研究会数学部会による研究授業

7月2日、八代教育研究会数学部会の先生方約30名を迎え、3年1組で数学の研究授業を実施しました。授業は■■■教諭が担当し、ICTの活用や話し合い活動を取り入れた、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識した内容でした。参観された先生方からは、生徒の主体的な学習態度や、互いに考えを伝え合う姿が高く評価されました。タブレットを使った確認やグループでの意見交換など、生徒が自分の考えを深める場面が多く見られ、学習の充実した様子が印象的でした。

